

令和6年度
焼津漁港地区海業振興に向けた検討会
(第2回)

2024年11月14日(木)

1. これまでのふりかえり（第1回協議会の概要）
2. 試行的実証実験の概要
3. 事務局精査による一部計画内容の精査
4. 海業の事業計画骨子（案）
5. 海業推進に向けた事業計画書案について
6. 海業で実施する事業の内容と体制案
7. 今後の予定

1. これまでのふりかえり (第1回協議会の概要)

■ 第1回協議会の概要

	実施日時 実施場所	内容
第1回	2024年 7月30日 (火) 15時00分～16時30分 焼津市役所 7階 7A会議室	1. 海業とは：海業の基本的考え方について説明 2. 焼津漁港地区における海業振興の背景 3. 焼津漁港地区におけるこれまでの取組と課題 4. 焼津地区における海業再構築のための取り組み内容案 5. その他 6. 意見交換

焼津漁港地区におけるこれまでの取組と課題

- 焼津漁港地区におけるこれまでの取組状況**
 - ・焼津漁港の長い施設整備の歴史の中で、市民や観光客が来訪する観光・交流施設が整備されたが、主な施設は、網ヶ島地区に集中し、焼津市街地や漁港全体の波及が限定している中、焼津内港地区に新たな海業展開の可能性を持つ「焼津PORTERS」が2023年5月に開業した。
 - ・焼津漁港区域内で長期間に続く集客事業は、①焼津みなとまつり(4月)、②焼津海上花火大会(8月)、③小川港さくら祭り(11月)で、④については2020年以降休止中である。一方、2023年から、④焼津魚(と)フェス(11月)がスタートしたが、いずれも年1回のイベント的取組である。

(これまでの取組)

(主なパート)

- ① 釣魚利用促進交流施設(深間水エキュートム)
- ② 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ③ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ④ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑤ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑥ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑦ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑧ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑨ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑩ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)

- ⑪ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑫ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑬ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑭ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑮ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑯ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑰ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑱ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑲ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)
- ⑳ 深間水エキュートム(深間水エキュートム)

<取組>
④
インバウンド
新たな観光
需要への対応

<取組イメージ>
近年、拡大を続けるインバウンド需要(※特に富裕層)を取り込むための取組

<取組主体>
民間事業者
焼津市

<今後やること(案)>

- ◆今後検討すること(案)
 - 外国人対象モニターツアーの実施
 - インバウンド需要対応型宿泊・観光施設の整備、まちづくり等
 - 外国人受入体制の構築
 - インバウンド誘致情報発信
- ◆今年度やること(案)
 - 焼津市・インバウンドの実態把握
 - インバウンド需要(※特に富裕層)の要望把握(※旅行代理店、市観光協会、市ホテル・旅館組合、市商工会議所等意見交換等)
- ◆今年度やること(案)
 - 実証実験(焼津魚(と)フェス等)
 - 参加者アンケート調査
 - 活用可能性のある資源について検討

<取組>
⑤
地域資源を活用した観光コンテンツ開発パッケージ化

<取組イメージ>
独自の漁業文化がかかる浜通りの街並みなど漁港区域外の地域資源も含めた観光コンテンツ開発とパッケージ化

<取組主体>
民間事業者
漁協
水産加工業者
その他

<今後やること(案)>

- ◆今後検討すること(案)
 - 活用資源の発掘と観光コンテンツ化調査
 - 活用資源の観光コンテンツ化実践
 - 活用資源パッケージ化メニュー開発
 - 集客・PRと連携
- ◆今年度やること(案)
 - 実証実験(焼津魚(と)フェス等)
 - 参加者アンケート調査
 - 活用可能性のある資源について検討

焼津地区における海業再構築のための取り組み内容(案)

<取組>
①
焼津PORTERSの取組強化・展開

<取組イメージ>
多様な産業とのコラボにより、多面的に水産業・地域活性化(海業)拠点として発展を図る

<取組主体>
民間事業者

<今後やること(案)>

- ◆今後検討すること(案)
 - 焼津海産物拠点形成とネットワーク化
 - 施設魅力向上
 - 宿泊機能、多様な体験メニュー創出
 - 多様な支援組織のネットワーク化
 - 集客ターゲット明確化、集客方法等
- ◆今年度やること(案)
 - 運営事業者間調査
 - 運営上の課題・今後の発展方向等
 - 利用者アンケート調査
 - 満足度、今後の魅力向上意向等

<取組>
②
焼津PORTERSの取組強化・展開

<取組イメージ>
「漁港施設等活用事業」を活用した、民間活力による宿泊・観光施設等の整備・運営(運営事業者の募集)

<取組主体>
民間事業者
焼津市
静岡県等

<今後やること(案)>

- ◆今後検討すること(案)
 - R.V.パーク実証実験
 - 利用事業者アンケート調査
 - 漁港内低利用地の有効活用可能性検討等
- ◆今年度やること(案)
 - R.V.パーク実証実験
 - 利用事業者アンケート調査
 - 漁港内低利用地の有効活用可能性検討等

<取組>
③
二次交通の整備

<取組イメージ>
焼津漁港地区の海業計画を策定し、上記に基づき経済波及効果の測定・継続的検証と意向調査による計画の改善と経済波及効果測定

<取組主体>
焼津市

<今後やること(案)>

- ◆今後検討すること(案)
 - 焼津漁港地区の海業計画策定
 - 上記に基づき経済波及効果の測定
 - 継続的検証と意向調査による計画の改善と経済波及効果測定
- ◆今年度やること(案)
 - 海業計画の策定に基づく、経済波及効果の測定
 - 事業実施によるアンケート調査を利用した海業計画内容の改善

<取組>
⑥
既存漁港区域内施設の活用促進

<取組イメージ>
漁港区域内の魚市場会館はしめ老朽化が進み低利用状況の施設の有効活用方法の決定

<取組主体>
民間事業者も
漁協
焼津市

<今後やること(案)>

- ◆今後検討すること(案)
 - 魚市場会館を始めその他漁港区域内の低利用施設活用計画の策定
 - 事業者の決定と既存施設のリノベーション・解体新築費用・収支検討
 - 海業振興全体計画と整合性のある当該施設の更新整備による活用
- ◆今年度やること(案)
 - 魚市場会館活用モデル検討
 - その他低利用施設の抽出と活用可能性の検討

<取組>
⑦
メタバース等を活用した体験・学習コンテンツの開発

<取組イメージ>
メタバース等を活用した体験・学習コンテンツの開発・提供により、子供たちの水産業への理解増進につなげる

<取組主体>
民間事業者
焼津市

<今後やること(案)>

- ◆今後検討すること(案)
 - メタバース活用コンテンツの検討
 - メタバース活用コンテンツ開発
 - メタバースサービス施設の決定と関連機器・装置の整備
 - 運営事業者の決定
 - 海業全体を包含した事業実施
- ◆今年度やること(案)
 - 焼津市独自のメタバース内容の検討
 - メタバースサービス施設(既存施設の活用)新たな施設整備)の検討

海業の取組概要

①焼津PORTERSの取組強化・展開

- ・「漁業会館」をリノベーションし、ワークインスペース等を整備
- ・今後は、多様な産業とのコラボにより、多様な創出から水産業・地域を活性化する海業拠点として発展を図る
- ・将来的には、PORTERSの取組・魅力を広げたい

②焼津PORTERSの取組強化・展開

- ・「漁港施設等活用事業」を活用した、民間活力による宿泊・観光施設等の整備・運営(運営事業者の募集)
- ・民間活力により焼津PORTERSを運営した実証実験(※特に富裕層)の要望把握(※旅行代理店、市観光協会、市ホテル・旅館組合、市商工会議所等意見交換等)

③二次交通の整備

- ・漁港区域の道路網を高め、滞在期間の延長を図るため、カーシェアリングや電動自転車など活用する海業拠点としての役割を担う

④インバウンドなど新たな観光需要への対応

- ・近年拡大を続けるインバウンド需要、特に富裕層を取り込むための取組を進める

⑤地域資源を活用した観光コンテンツの開発

- ・漁港区域外の地域資源も含めた観光コンテンツの開発・提供
- ・「漁港施設等活用事業」を活用した、民間活力による宿泊・観光施設等の整備・運営(運営事業者の募集)

⑥既存の漁港区域内施設の活用促進

- ・魚市場会館を始めその他漁港区域内の低利用施設活用計画の策定
- ・事業者の決定と既存施設のリノベーション・解体新築費用・収支検討
- ・海業振興全体計画と整合性のある当該施設の更新整備による活用

⑦メタバース等を活用した体験・学習コンテンツの開発

- ・メタバース等を活用した体験・学習コンテンツの開発・提供
- ・子供たちの水産業への理解増進につなげる

■ 第1回協議会の主な意見

海業促進プロジェクトチームの目的について

- 焼津市水産振興会から海業促進プロジェクトチームを立ち上げており、プロジェクトチームでは、焼津における**海業のあり方**やそれを**実証的に進めて行く取組について意見やアイデア**を検討・協議いただきたい。

焼津海業のイメージについて

- 今回の焼津での海業の取組に関する説明には観光振興イメージを持ったが、既存の水産業から新しい事業展開等の発想の着目点がありません→漁業活動に配慮しつつ、**水産物の消費拡大、漁港内の賑わいの創出**ということが目的となるので、水産業と観光業等の関連産業を掛け合わせたものが、海業と認識しており、**水産業を中心に、観光を含めて発展していくようなイメージ**である。
- 水産資源の資源保護や水産業の担い手の育成について考えはあるか**→資源保護については、国はデジタル化の方で進めようとしている。担い手については、**焼津市は昔から水産業に従事する方が多い**ため、衰退しないように雇用の創出を図りつつ、**地域活性化につなげていきたい**と考えている。
- 水産庁アドバイス**・・・海業の具体的振興内容については、様々なアイデアを出した方が良い。海業の前提条件は、**海に関係することであれば、あまり縛りがない**と考えていただきたい。メタバースも長い目で見れば直接関係するかわからないが、体験・教育コンテンツとして漁業・水産業に親近感をもってもらい、結果として、新規参入の入り口を広くする意味では成り立つ。

海業実証実験について

- 実証実験として、RVパークや魚フェス、乗船体験等を実施する事業者は決まっているか。**御前崎港の緑地を使って民間事業者がRVパークを3年ほど実証実験をやっている。夏場は海水浴場で賑わうが冬場は閑散とってしまう等課題もある→**RVパーク**については、現在、各事業者と話をしているところで**決定はしておらず、これから、どのように進めて行くか決めていくところ。**実証実験の一部は**魚仲組合と連携**し、船釣りや船釣りパーク等については、地域おこし協力隊で“釣りガール”として協力をしていただいた方との**連携**も検討している。

■第1回協議会後の補足アンケート意見

(意見)

漁港漁場整備法の一部改正に基づく「海業」推進の漁港エリアの利活用について

今回は、焼津市が実証的に取り組む地区に選定されたので、市計画案の構想披露であったが、県管理担当部局・エリアでの今後の協力・対応予定はどうなっているか

※ R Vパークの企画等いくつかの構想案も市管理地だけでは限定的なものになるのではないか

(回答)

○焼津漁港は、静岡県が漁港管理者なので、漁港施設を活用する事業については、**県に協力いただくことが前提**になる。**漁港内のイベントや試験的 R Vパークについても県の協力のもと進めている。**

○本プロジェクトチームでもオブザーバーとして参加いただいております、引き続き焼津漁港の海業推進には、さまざまな面でご協力いただきたいと思います。

(意見)

海業取組期間・体制について

今回の焼津市「海業」の取組は、期限を設けた実証試験(約5年間)なのか、あるいは“恒久的”に漁港漁場の利活用に関する規制緩和を進め、新産業創出を図るべく中長期的(10年～)を視野に単年度毎で構想協議を図るものなのか？(漁村総研との委託契約の期間等も含)

(回答)

○**今回の海業実証事業は**、計画に反映させるため、令和6年度に実施するもので、**複数年を想定して行うものではない。**

○法改正により、漁港の活用促進が制度化されたため、規制が緩和され、**新たな産業が水産業と調和を取りつつ参入できるようになった。**

○こういったことを加味した上で、**海業事業計画を作成することになる。**
※なお、漁村総研は、令和6年度の国の委託事業で焼津地区の海業事業計画作成等について支援してもらっている（市と契約しているものではない）。

■第1回協議会を踏まえた検討の方向性

海業の 方向性

- ◆水産庁に提案している8つ①焼津PORTERSの取組強化・横展開、②経済波及効果の検証(PDCA)、③新制度（漁港施設等活用事業）を活用した宿泊・観光施設等の整備、④二次交通の整備、⑤インバウンド等新たな観光需要への対応、⑥観光コンテンツの開発・パッケージ化、⑦既存の漁港区域内施設の利活用促進、⑧メタバース等を活用した体験・教育コンテンツの開発は**概ね了承**
- ◆補足的に、①**海業促進プロジェクトチームを継続し**、②**継続的に協議と取組を進め**、③**観光にとどまらない地元水産物の消費増進を含めた漁業・水産業振興の視点を重視する。**

■ 第1回協議会後のプロジェクトチームメンバーからの追加検討事項の提案

- ①旧港ヨットハーバーの設置：観光レジャー時代における利活用として
- ②陸上養殖の誘致：漁協中心に陸上での高級魚介類養殖業者を招致する
- ③観光施設の移転・建替：さかなセンター機能を含めた複合施設（※避難施設機能を有する）
- ④釣りの実食体験：海上または陸上において、釣堀施設と釣上げた魚介類の実食提供サービス
- ⑤水族館の誘致：日本一の水産都市・日本一の深海湾にふさわしい水族館の誘致
- ⑥旧港（旧魚市場跡地）：
かまぼこ屋根の旧魚市場の風情を再現した観光飲食エリア飲食街施設の創造（シドニー湾周辺やフィッシャーマンズワーフ風）
- ⑦新港・浜当目・小浜でのオートキャンプやグランピング事業誘致：
海岸景観エリアの3地区を候補に、オートキャンプ場やグランピング施設を開設して市内外からの来焼者増加を図る
- ⑧大型クルーズ船の停泊誘致：
大型クルーズ船の接岸は港内水深から難しいので沖合停泊し、連絡ボート利用による焼津へ上陸、市内グルメツアーの実施。



※以下の観点も含めて、ご意見をいただきたい

- ・誰が、どこで、どのように、いつやるか？（事業主体、利用可能地、ビジネスモデル、短期・中期・長期）
- ・漁港利用との調整は可能か
- ・財源と維持・運営管理費
- ・その他

2. 試行的実証実験の概要

■ グリーンスローモビリティ（つなモビ）実証実験① （実証事業の概要）

使用車両

○ヤマハ発動機の7人乗りグリーンスローモビリティ・2台（乗車定員は2台・12人⇔前回は2台8人）

○最高時速19キロ

○高齢者も乗降車しやすい低床タイプ車両／強風下でも安定して走行できる頑強な車体



○実験主体：合同会社うさぎ企画（経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」として）

○協力（予定）：焼津市、焼津市観光協会、焼津市商工会議所、しずおか焼津信用金庫

■ グリーンスローモビリティ（つなモビ） 実証実験③ （焼津「つなモビ」に関するマスコミ報道）

JR 焼津駅周辺で低速 E V による送迎の最終実証を10月から始める

静岡県焼津市で低速の電気自動車（EV）を走らせ、観光・経済交流に

焼津駅周辺で低速 E V 運行

「つなモビ」停留所45カ所に

最終実証、12日から

つなげる「つなモビ」の実証に向けた最終実証が12日に始まる。12月15日までJR焼津駅南口の3*圏内で利用者を送迎する。乗車回数や収支率、経済波及効果などを検証し、高齢者の移動や住民と来街者の交流を促す。モビリティ事業や人材マッチングを手掛ける合同会社うさぎ企画（静岡県長泉町）が運行する。料金は1日乗り放題で700円、1回利用券は300円。乗車時のほか市の公式LINE上のアプリで決済できる。停留所は公共施設や店舗、観光施設など45カ所と23年度の前回実験から10カ所以上増やし、6人乗りを9人乗りに変えた。実験は3回目。同社によると前回実験では79日間で580人が利用し、1781万円の経済波及効果があった。利用客の4割は地元客だった。

2024年10月5日 日本経済新聞

11月10日現在 利用状況
□利用人数 1,137人（31日間）



焼津市で始まる交通サービスで使われる低速 E V
＝同市内

低速 E V の予約制サービス

焼津市で12日から、低速の電気自動車（EV）を使った予約制の交通サービス「つなモビ」が始まる。JR焼津駅の南東4*圏に設けられた45カ所の停留所を結び、12月15日までの毎日午前10時～午後5時に運行する。1～3月に続く実施となる。

「つなモビ」焼津で出発進行

店舗や施設など45カ所結ぶ

定員6人の時速19*のEV「グリーンスローモビリティ」2台を使用。予約を受けて店舗や公共施設、観光施設などの停留所間を移動する。地元客の移動促進のほか、市外客の周遊による経済・交流効果の創出を図る。前回実施した1～3月は79日間の運行で延べ580人が利用。今回は停留所数を前回から拡大し、EVの収容人数も1.5倍に増やした。サービスは地域活性化事業に取り組むうさぎ企画（長泉町）が経済産業省の「地域新Maas創出推進事業」の採択を受けて実施する。利用料は1回300円で、1日乗り放題は700円。予約はLINE（ライン）の焼津市アカウントからアクセスできる専用アプリか、電話（090（6033）2158）で受け付ける。（焼津支局・市川淳一朗）

2024年10月12日 静岡新聞

■RVパーク実証実験①

（R Vパーク焼津漁港 実施内容①）

1. 目的

日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を滞在して楽しむ「農泊」を持続的な観光ビジネスとして実施する取組が全国各地で行われており、漁村地域における取組については特に「渚泊」と呼んでいる。人口減少の過度の進行は地域の活力を失わせ、水産物の安定供給に支障が出るおそれがある。活気のある住みよい地域づくりにより、漁村に人を呼び戻し、賑わいを取り戻すことが求められている。

焼津漁港においても、渚泊の推進により、全国から宿泊客を呼ぶことで焼津の多様な地域資源が情報として広まっていくことが期待でき、海業の振興にも繋がる。

2. 内容

実証事業として、全国的にブームとなっているR Vパークを仮設で設置し、海に隣接したスペースでの渚泊を楽しんでいただく。フィッシングゾーンでの釣りや海鮮B B Qを加えることで、漁港ならではの体験が味わえる。

3. 場所

焼津漁港新港地区ふいしゅーな多目的広場（焼津市鰯ヶ島136-29）

4. 期間

令和6年11月2日（土）～12月15日（日）

5. 運営方法

焼津市観光協会のアクティビティ体験予約サイト「meets！ヤイツ」で予約受付し、事前クレジット決済。

1泊1,000円。パークは8区画用意。仮設トイレ、水栓、電源完備。

利用後のアンケート調査。

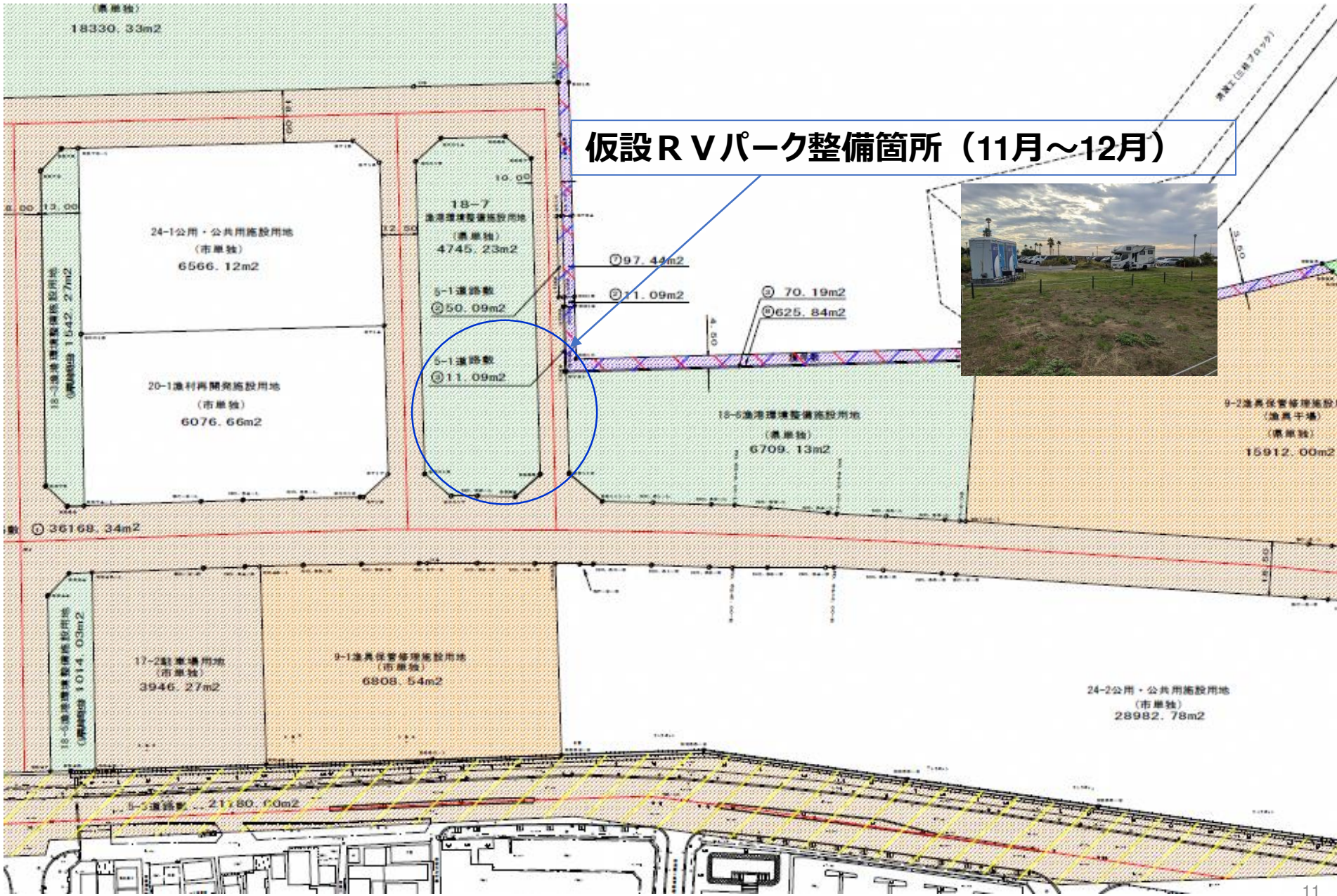
6. 周知

日本R V協会へ入会し、協会からのP Rやくるま旅クラブH Pへの情報掲載で周知。

その他、市H P、市公式L I N E、オンライン広告（google）等で周知。

■RVパーク実証実験②

(RVパーク焼津漁港 実施内容②)



■RVパーク実証実験③

(RVパーク焼津漁港 実施内容③：参考資料)

YAIZU CITY NEWS RELEASE



【海業実証事業】焼津漁港に仮設「RVパーク」を設置
～キャンピングカーで焼津漁港ならではの渚泊を体験～

焼津市では、海業の実証事業として、キャンピングカーでの車中泊サイト「RVパーク焼津漁港」を、期間限定で設置します。
漁港内のRVパークは全国でも稀であり、隣接する「焼津漁港親水広場ふいしゅーな」では、フィッシングゾーンで釣りを楽しんだり、砂広場でビーチバレーをしたりとアウトドアの楽しみが満載です。
また、「アクアスやいづ」、「うみえ～る焼津」、「^{なぎさく}深層水ミュージアム」といった海洋深層水の施設も充実しており、焼津漁港ならではの渚泊が体験できます。

設置場所 焼津漁港新港ふいしゅーな内（アクアスやいづ南西）
（鯛ヶ島 136-29）

事業期間 11月2日（土）～12月15日（日）

料 金 1泊 1,000円

※浜焼きや船釣り体験とのセット販売もあり。

整備施設 駐車区画は8サイト。電源、水道、トイレ完備で、Wi-Fi も利用可。

ごみ処理対応可。ペット連れOK。

予約方法 焼津市観光協会アクティビティ体験予約サイト「meets!ヤイツ」
または日本RV協会HPより事前予約



RVパーク区画イメージ▶

問合先 焼津市経済部 水産振興課 小池
Tel 054-626-2152 FAX054-626-2194

20241030 PM03:00

焼津市観光協会アクティビティ予約体験サイト

「meets!ヤイツ」の予約状況 4件



車中泊施設「RVパーク焼津漁港」
提供事業名: 株式会社JTB 静岡支店
焼津港で安心して車中泊ができる場所を提供します
◎ 2d 最安価格 ¥1,000



RVパーク焼津漁港での車中泊と
浜焼きセット
提供事業名: 株式会社JTB 静岡支店
RVパークの周辺限定！浜焼き体験RVパーク
◎ 2d 最安価格 ¥1,000



RVパーク焼津漁港での車中泊と
船釣り体験セット
提供事業名: 株式会社JTB 静岡支店
RVパークの周辺限定！船釣り体験
◎ 2d 最安価格 ¥1,000

日本RV協会予約サイトの予約状況 1件



■海業コンテンツの開発実証実験

(海業取組基本計画「豊富な地域資源を活用した漁港周辺エリアの賑わい創出」に向けた取組)

背景

本市では、新制度を活用した新たな宿泊・観光施設の整備、観光コンテンツの開発、インバウンドの獲得等、海業の挑戦的な取り組みを行うモデルケースとなるため、海業モデル地区として水産庁の採択を受けた。今後は、採択を受けた申請内容にもとづき、計画策定やそれに向けた実証事業に令和6年度中に取り組むこととしている

令和6年度補正予算 海業計画策定事業費「観光コンテンツ実証事業業務委託」

取組の方向性

- ✓ 将来的な施設整備等に向けて、施設に想定される機能や、提供が予測されるコンテンツに対する観光客等の需要を検証する
- ✓ 検証にあたっては多様な世代・属性の意見を集約するため、市内外から多くの来場者が見込まれる「魚フェス」開催時を中心に実施する

将来的に提供が予測され検証が必要なコンテンツ

焼津ならではの「食」

浜焼き体験

- ✓ 新施設等では、滞在時間の延長、客単価の向上を図るため、旅行者が自分で釣った魚や買った魚を浜焼きにし、多様な世代を問わず楽しめる場を提供する必要がある
- ✓ このため、利用者ニーズやサービス提供のオペレーション等を検証する
- ✓ あわせて、RVパークや船釣り公園と連動し、宿泊者の満足度等も検証



【魚フェス連携（開催日限定）事業

- ✓ 魚仲組合と連携し、市内メーカーこだわりの鰹のたたき実演と試食提供及び来場者が自由に使える焼き場コーナーの利用者ニーズと運営形態の検証



【RVパーク等連動【期間実証】事業

- ✓ RVパークや船釣り体験利用者に対しオプション的に浜焼きメニュー付プランを提供し、利用者ニーズや運営形態を検証



焼津ならではの「体験」

船釣りパーク実証

- ✓ 新施設等では、客単価の向上を図るため、目玉となり得る、誰でも手ぶらで気軽に参加できる船釣り体験を提供する必要がある
- ✓ 全国的にも例のない予約不要な(仮称)船釣りパークの設置が可能な検証する
- ✓ あわせて、RVパークや浜焼き体験とも連動し、相乗効果を検証



【魚フェス連携（開催日限定）事業

- ✓ 会場より出船し、船釣りを体験後に寄港
- ✓ 釣った魚の会場内での浜焼きも実施し、利用者ニーズや運営形態を検証



【RVパーク等連動【期間実証】事業

- ✓ RVパークや浜焼き体験利用者に対しオプション的に船釣り体験付プランを提供し、利用者ニーズや運営形態を検証



■マグロフェス船釣り体験実証実験

(10/27鮪フェス船釣り体験アンケート回答：参考資料)

番号	どちらの船釣り体験に参加されましたか。	性別を教えてください。	年齢を教えてください。	お住まいを教えてください。	何名で参加しましたか。	どなたと参加されましたか。	会場までの交通手段を教えてください。(複数回答可)	ご自宅から会場まで、片道どのくらい時間がかかりますか。(分単位)	今回の船釣り体験へ参加するにあたり、宿泊施設を利用しましたか。	宿泊費は1人あたりいくらかですか。	「鮪フェス」、「魚フェス」、「魚フェス」イベント会場内、または会場外の店舗をご利用されましたか。(予定含む)	1人あたりいくらかご利用になりましたか。(予定含む)	イベント会場以外の、船釣り市内の店舗をご利用されましたか。(予定含む)	飲食店では1人あたりいくらかご利用になりましたか。(予定含む)	お土産は購入されましたか。(予定含む)	どのようなものを買いましたか。(予定含む)	お土産をいくらか購入されましたか。(予定含む)	今回の船釣り体験の満足度も5段階で教えてください。	船の出港時間(船8時)はどうでしたか。	何時ごろ出港が良いと思いますか。	船釣りの体験時間はどれくらいでしたか。
6	10月27日(鮪フェス)	女性	40代	焼津市	2人	家族	自家用車	10	焼津市内の宿泊施設に宿		はい(予定含む)	2000	はい(予定含む)	1500	いいえ			8(満足)	遅い	8.00	短い
5	10月27日(鮪フェス)	男性	50代	焼津市	2人	家族	自家用車	20	宿泊していない(日帰り)		はい(予定含む)	1000	いいえ		はい(予定含む)	その飲食料品:海産物、水産加工品	1000	8(満足)	ちょうど良い		短い
4	10月27日(鮪フェス)	男性	40代	愛知県	2人	家族	自家用車	90	宿泊していない(日帰り)		はい(予定含む)	2000	いいえ		はい(予定含む)	海産物、水産加工品	3000	8(満足)	ちょうど良い		ちょうど良い
3	10月27日(鮪フェス)	男性	50代	藤枝市	2人	家族	自家用車	20	宿泊していない(日帰り)		はい(予定含む)	1000	いいえ		いいえ			7	ちょうど良い		ちょうど良い
2	10月27日(鮪フェス)	男性	10代	焼津市	2人	家族	自家用車	5	宿泊していない(日帰り)		はい(予定含む)	500	いいえ		いいえ			7	遅い	午前8時	短い
1	10月27日(鮪フェス)	男性	40代	静岡市	2人	家族	自家用車	30	宿泊していない(日帰り)		はい(予定含む)	1000	いいえ		はい(予定含む)	雑貨	1000	8(満足)	ちょうど良い		ちょうど良い

番号	何時間程度が良いと思いますか。	「鮪フェス」、「魚フェス」の浜焼きコーナーは利用されましたか。	浜焼きコーナーについて、ご意見等ございましたらご記入ください。	今回のような船釣り体験(浜焼きを含む)を販売する場合は、いくらが良いと思いますか。	今回の船釣り体験の良かった点、悪かった点を教えてください。	今回のような船釣り体験(浜焼きを含む)を10,000円で販売した場合、また参加したいと思いますか。	その他感想、ご意見等ございましたらご記入ください。
6	4時間	利用した	七輪が小さい。釣った魚意外の物も焼いて食べたかった。塩が食卓塩だったので残念で、海洋深層水のものだったら美味しさがアップしたと思う。	10,000円	釣れたから良かったですが、釣れなかったら浜焼きができないと焦りました。暑くも寒くもなかったのも良かった。自分で魚を処理するのは大変なので、やってもらえて良かった。美味しい食べ方も聞けたのも良かった。船がもう少し片付いてきれいな状態がいい。	どちらともいえない	初めての船釣りでしたが、楽しめました。ありがとうございました。
5	4	利用した	釣りたてを食べる事が出来良かったです	7,000円	良かった点は2人で7000円が体験するにあたり丁度良いです。悪かった点は船酔いした自分です。	参加したくない	定期的に伝えばたまに乗船したいと思います。
4		利用した	釣った魚をその場で焼いて食べれるのはすごく良い。たくさん釣れるれ笑	5,000円以下	良:魚が釣れたこと 道具が全て借りられたので手ぶらで楽 料金も手頃だったこと 悪:イトヨリしかつれなかったこと笑	どちらともいえない	
3		利用した	焼いて食べれるのはすごく良かったです！	7,000円	魚が釣れたこと！ 悪かったことはないです。	どちらともいえない	また、参加したいです！
2	5時間	利用した	大きい七輪が欲しい	5,000円以下	少しでも釣れるように少し延長してもらえたこと	どちらともいえない	なかなかできない船釣り体験を安く体験できてよかった また開催する時も参加したい
1		利用していない	七輪が小さい。	7,000円	料金がお手頃。こうした船長がしんせつだった。	どちらともいえない	船酔いはいしましたが、楽しかったです ◎(親) またやりたいです！(子ども)

3. 事務局精査による計画内容の一部変更

【焼津海業振興をさせる主なハード】

①焼津PORTERSの取組強化・横展開

↑ ↓ (連携・補完・波及)

②漁港施設等活用事業を活用した宿泊・観光施設の整備

●優先的（短期的）取り組み

焼津海業拠点として、焼津漁港新港地区市単独用地（約3.3ha）における民間活力の導入による、新たな「水産観光交流施設」整備を、令和8年度以降順次進める。
(※別途詳細説明)

↑ ↓ (連携・補完・波及)

⑥既存の漁港区域内施設の利活用促進

【焼津海業振興全体を支える共通ソフト】

①経済波及効果の検証（PDCA）

③二次交通の整備



●優先的（短期的）取り組みの可能性



より簡易で自由度のある「グリーンスローモビリティ」の導入（※10/12～12/15試験実施）

④インバウンドなど新たな観光需要対応

⑤観光コンテンツの開発・パッケージ化

⑦メタバース等を活用した体験・教育コンテンツの開発

4. 海業の事業計画骨子（案）【静岡県焼津市 焼津漁港】①

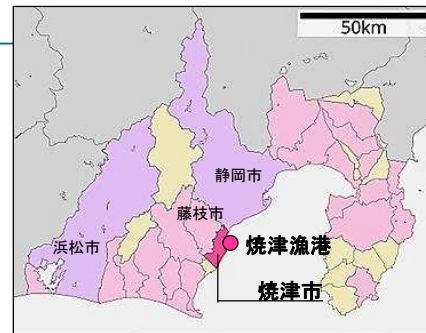
1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

- 焼津市は、東海道のほぼ中央に位置し、東名高速をはじめ、国道1号、東海道本線（新幹線静岡駅も近接）により、**関西・中部・関東大都市圏と結ぶ広域交通の有利性**を持つ。また、また、国際線（中国、台湾、韓国）を持つ富士山静岡空港も近く、焼津市は**アジア系利用者の一部の一時中継的宿泊需要地**となっている。
- 人口は平成22年の14.3万人をピークに減少局面にあり、令和2年には総人口13.7万人（高齢化率=29.9%）。
- 特3焼津漁港と大井川漁港を根拠に、漁業・水産業が盛んで、特に焼津漁港は、遠洋カツオ・マグロを中心に全国随一の陸揚金額を誇る。→市の「**水産都市**」、「**さかなのまち**」の性格を規定するが、水揚量・金額は最盛期の半分以上に縮小（※今後も継続すると見られる）しており、**漁業・水産業のみならず地域全体の活力低下・衰退が危惧**されている。

【海業の現状と課題】

- 年間400万人の観光客があるが、宿泊率（約10%）は低く、**漁港来訪者は限られる→地域活性化と漁業・水産業振興につながる“海業”振興要請。**
- 焼津漁港内に海業関連施設はあるが、**点在しており、相互の補完・連携関係が成立していない。**（※話題性ある「**焼津PORTERS**」が2023年5月開業）
- 市街地に近接し、各種イベントが実施されている**焼津内港地区内に老朽化した未利用施設が立地→景観上の問題・立地上の利活用の可能性**
- 漁業・水産業を核とした**集客イベント**は複数実施されているが、**いずれも1回／年開催にとどまっている。**
- 漁港が広大で、来訪者が点在する魅力施設等を**移動する手段にとほしい。**
- 既存ストックの有効活用**（新港市単独用地（約3.3ha）が未利用、漁港に近接する浜通に残るみなとまちの伝統・文化・景観等）



（静岡県における焼津市・焼津漁港の位置）

焼津中心市街地と焼津漁港の立地関係

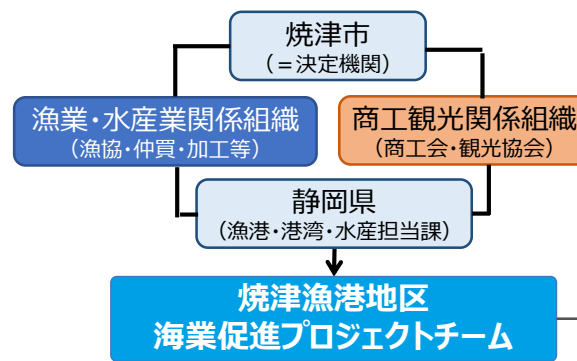


（焼津市の人口推移と将来予測）



（焼津漁市場の取扱金額の推移）

2. 検討体制



【メンバー】

- ・焼津漁業協同組合
- ・小川漁業協同組合
- ・焼津市魚仲水産加工業協同組合
- ・焼津水産加工業協同組合
- ・焼津鰹節水産加工業協同組合
- ・焼津商工会議所
- ・焼津市観光協会
- ・焼津ホテル旅館組合
- ・焼津市
- ・静岡県

焼津漁港区域における既存の海業取組状況

4. 海業の事業計画骨子（案）【静岡県焼津市 焼津漁港】②

3. 海業の方針

「さかなのまち」焼津市のシンボルであり、漁業・水産振興機能とともに都市型ウォーターフロント空間を形成する焼津漁港において、既存の海業への取組と既存ストックの有効活用可能性を活かし、漁業・水産業振興と調和のとれた持続的な“にぎわい創出”と“地域振興”につながる都市型海業振興を展開する。

【取組】

- 焼津PORTERSの取組強化と横展開（既存集客施設や今後の市用地活用施設、水産会館等等既存施設の利活用、浜通ゾーンの活性化等との連携）による総体的な来訪者数の増加・滞在時間の延長、地場水産物を中心とした消費拡大、雇用拡大
- 市有地（3.3ha）における新制度（漁港施設等活用事業）を活用した、宿泊・観光施設等の整備による、漁港全体の魅力向上による来訪客数の増加、滞在時間の延長、地場水産物を中心とした消費拡大、雇用拡大
- 経済波及効果の検証によりを、随時取組内容のブラッシュアップを図るとともに、二次交通整備により漁港全域の魅力施設間のアクセス向上を図るとともに、インバウンドなど新たな観光需要対応、観光コンテンツの開発・パッケージ化、メタバース等を活用した体験・教育コンテンツの開発実践等の取組全体の付加価値向上ソフトの強化を推進による、漁港での海業取組全体の魅力向上と来訪客数と消費額の拡大
- 取組横断的な、焼津漁業・水産業振興波及システムの構築による、焼津水産物の付加価値化、地場販売消費額の拡大、漁業者所得向(兼業所得機会の創出含)、担い手・後継者確保

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

⑤浜通りゾーンの歴史・文化・景観資源活用
期待効果：下記共通ソフト参照

⑥既存漁港区域内施設（市場会館）の利活用
期待効果：内港地区の魅力向上→海業集客拠点ゾーンの形成

⑦焼津PORTERSの取組強化と横展開
期待効果：漁港全体の来訪客数増加・滞在時間の拡大・消費拡大・雇用拡大等

小川地区

既往集客施設集積
（新港鰯ヶ島地区）

新港地区

焼津地区

焼津駅

市役所

市街地近接各種イベント開催
（焼津内港地区）

二次交通周遊エリア



（グリーンスローモビリティ）

取組み全体を支える共通ソフト

- ①経済波及効果の検証/PDCA(焼津市) →期待効果：取組のブラッシュアップ(焼津海業の魅力向上)、取組の経営・運営改善
- ③二次交通の整備（民間）→期待効果：来訪者利便性向上、焼津海業の魅力向上、漁港全体への経済波及拡大→来訪客数増・消費額拡大、
- ④インバウンドなど新たな観光需要対応（民間・全関係者）→期待効果：既存来訪外国人滞在時間延長、新たな外国人富裕層の誘致数拡大→消費額拡大
- ⑤観光コンテンツの開発・パッケージ化（民間・全関係者）→期待効果：焼津海業の魅力向上→来訪者滞在時間延長と消費額の拡大
- ⑦メタバース等を活用したコンテンツの開発（民間）→期待効果：焼津海業の魅力向上→来訪者滞在時間延長と消費額の拡大、漁業・水産業への関心・興味の拡大→後継者確保

※計画・実践取組体制継続と焼津漁業・水産業振興波及体制構築→期待効果：健全・適正・効果的な焼津海業運営ハンドリング、焼津漁業・水産業振興連携

5. 海業推進に向けた事業計画書案について

■事業計画書 記載項目

策定者		
協議会メンバー		
対象地域と対象漁港		
地区の概要	地区の現状	地区の概要、産業構造と人口の推移、漁業の概要、観光の概要 等
	上位・関連計画	上位・関連計画との関係、位置づけ
	地域の課題	上記を踏まえて地域の課題を整理
海業の概要	海業の目的	目的（ミッション）、地区が目指す将来像
	実施する事業	実施する事業、事業主体、実施時期等
	地域資源や魅力の活用	活用する地域資源や魅力、事業での活用方針、域内調達
	漁港ストックの活用方針	漁港ストック、およびその活用方針
	事業の効果	地元水産業の発展に寄与する内容、地域に与える効果
実施する各事業の ビジネスモデル	ビジネスモデル	何を、誰に、どのように提供するか、価格帯、見込客数等
各事業の実施項目と実施主体、活用したい支援事業等		
体制、人員計画、関係者の役割分担		
実施に向けた手続き・調整事項	手続き	各事業の実施に向けた具体的な手続き
	調整事項	今後必要となる調整事項の整理
財務計画	資金の検討、収益の検討	
実施にむけたタイムスケジュール案（これまでのまとめ）		

6. 海業で実施する事業の内容と体制案①

■ 事業の概要と期待効果

事業名	事業主体	実施時期			取組の内容	期待効果
		短期 5年以内	中期 5～10年	長期 10年～		
⑥ 焼津PORTERSの 取組強化・横展開	民 間 事業者	●			- 既存施設の魅力・集客力向上 - 海業情報発信機能強化 - 他海業拠点施設との連携	- 点としての集客力向上 - 集客効果の面的波及 - 焼津海業の魅力向上 - 来訪者増＋消費額拡大
① 経 済 波 及 効 果 の 検証(PDCA)	焼津市	●			- 経済波及効果の測定（市産業 連関表の活用） - 顧客満足度等アンケート調査	- 取組のブラッシュアップ(焼 津海業の魅力向上) - 取組の経営改善
② 漁港施設等活用事業 を活用した宿泊・観光 施設の整備	民 間 事業者	●			- 漁港区域内市単独用地(3.3ha) に海業複合拠点（水産物直販、 飲食その他海業体験交流施設） 整備 - 市→民間公募	- 焼津海業の魅力向上 - 来訪者増＋消費額拡大 - 地場水産物消費拡大 - 雇用拡大
③ 二次交通の整備	民 間 事業者	●			実証実験(R6.10/12～12/15) 結果を踏まて、グリーンスローモビ リティの稼働（※焼津漁港区域を含 めた市街地全域）	- 来訪者利便性向上 - 漁港全体への経済波及 - 焼津海業の魅力向上 - 来訪者増＋消費額拡大
④ インバウンド等新たな 観光需要対応	民 間 事業者 全ての 関係者	○	○	○	- 近年拡大傾向にあるインバウンド 需要(既存及び新たな需要開拓) 導入のための方策検討 - 富裕層をターゲットとした取組	- 焼津海業の魅力向上 - 既存の焼津来訪外国人 滞在時間の延長 - 新たな外国人富裕層の 誘致数拡大 - 来訪者増＋消費額拡大
⑤ 観光コンテンツの開発 パッケージ化	民間事 業者他 全関係 者	○	○	○	- 焼津の歴史・伝統・文化を活用し た観光コンテンツ開発(浜通り等) - 宿泊・飲食・体験等のワンパッケー ジ商品開発と提供	- 焼津の地域イメージ向上 - 焼津海業の魅力向上 - 来訪者の滞在時間延長 - 消費額の拡大

6. 海業で実施する事業の内容と体制案②

事業名	事業主体	実施時期			取組の内容	期待効果
		短期 5年以内	中期 5～10年	長期 10年～		
⑥既存漁港区域内施設の利活用促進	民 間 事 業 者		●		・焼津内港地区の魚市場会館その他低利用・老朽化施設の海業活用方法に関する当事者間協議の推進	・焼津海業の魅力向上 ・海業拠点である焼津内港地区の魅力向上 ・来訪者増＋消費額拡大 ・焼津漁業・水産業振興
⑦メタバース等を活用した体験・教育コンテンツの開発	民 間 事 業 者	○	○	○	・実績のあるメタバースを活用した体験・教育コンテンツの開発・実践	・焼津海業の魅力向上 ・海業来訪者の拡大 ・来訪者増＋消費額拡大 ・漁業・水産業への関心・興味拡大→後継者確保
※1.計画・取組に関する議論の継続	海 業 促 進 P . T	○	○	○	・海業促進プロジェクトチームの継続的活動 ・①経済波及効果の検証(PDCA)に基づく、焼津海業推進の運営管理	・健全・適正・効果的な焼津海業運営ハンドリング ・焼津海業の魅力向上 ・地域振興効果 ・漁業・水産業振興効果
※2.焼津漁業・水産業振興波及体制構築		○	○	○	・海業促進プロジェクトチームにおける個別の海業取組における、漁業水産業振興との連携・波及推進のための指導・提言 ・焼津漁業・水産業界の海業への積極的取り組み、参画推進	・焼津漁業・水産業の ・知名度向上・ブランド化 ・売上げ・地場流通拡大 ・所得向上 ・後継者確保 等

7. 今後の予定

■ 海業の推進に向けて今後進めるべきこと

- ☆ 焼津漁港を中心とした周辺市街地の海業推進に係る調査や事業計画書の策定および波及効果等の検証
- ☆ 実施可能性の高い優先着手プロジェクトへの着手
- ☆ 海業促進プロジェクトチームの継続体制の構築

【推進事項】: 計画策定と並行して優先事業の着手・実証実験等によるニーズ発掘も進める

- ① 焼津漁港地区海業事業計画書の策定（令和 6 年度）
- ② 優先プロジェクト（焼津漁港新港地区市単独用地(約3.3ha)における民間活力の導入による、新たな「水産観光交流施設」整備）に係る民間事業者公募（令和 6 年度）



※施設整備の順次着手（令和 8 年度以降想定）

- ③ 海業促進プロジェクトチームの継続（令和 7 年度以降）
 - ・必要に応じた構成メンバーの拡充
 - ・8つの取組事業の具体的推進・検討・実証実験
 - ・各種取組の実証実験等を踏まえた、漁業・水産業振興、所得向上の仕組みを検討
 - ・既存資源の有効活用と関係各者との連携
 - ・I Tやメディア等を活用した積極的な情報発信・情報公開
 - ・その他